

令和4年度 第1回倉敷市真備公民館 人権教育講演会



福島に想いを寄せて

～原発事故が奪った私たちの暮らし～

津軽三味線奏者

えびなうま
蝦名字摩 先生



【講師プロフィール及び活動紹介】

鹿児島県奄美大島出身。16歳のとき津軽三味線を聞き、その音色の美しさと激しさに惹かれ、津軽出身の姥名伴主氏に師事する。その後、津軽三味線ほか、尺八と唄、民謡太鼓を習得。

2011年3月に福島原発事故による放射能の影響を恐れ、埼玉県から岡山県へと移住する。現在は自宅で民謡教室を開きながら、県内外の様々なイベントで演奏活動を行う。2012年より、福島の子どもたちを岡山へ招く「瀬戸内交流プロジェクト」を開催。

令和4年10月1日(土)

入場
無料

13:00～14:30

真備公民館 大集会室

- 当日はマスク着用で、ご参加ください。当日、体調不良の場合は、ご遠慮ください。(当日受付時、手の消毒・体温測定を行います。)
- 駐車場には限りがありますので、できるだけお車以外か乗り合わせておいでください。(真備支所北側の駐車場をご利用ください。)

お問い合わせ:真備公民館 698-0042 (担当:本多・岡田・萩原)